

「安全系中性子束高」が発生する要因に関する調査状況

発生要因		調査方法	調査結果	異常の有無		
「安全系中性子束高」スクラム信号発生	定格の110% (22MW)でスクラム	ヒューマンエラー	運転手順の調査	運転手引に従って実施していることを確認した。	無	
		自動制御回路故障	運転データによる調査	対数出力、熱出力の最大が3.3MWであることを確認した。	無	
	安全系誤作動	原子炉保護設備	作動点検による調査	正常に作動することを確認した。	無	
		ノイズの影響	溶接機等の使用	聞き取り調査(実験者等)	使用がないことを確認した。	無
		測定系	線形増幅器	模擬入力による調査	自動レンジ切替回路が正常に作動しない場合があることを確認した	有
			中性子検出器のライン	絶縁抵抗測定による調査	今後調査予定	未
			絶縁増幅器	模擬入力による調査	今後調査予定	未
			トリップ回路	作動点検による調査	今後調査予定	未